

若鳩 三十三名巣立つ

第十二施設群は、昨年に引き続き、三・四月隊員前期教育(三十三名)を四月十一日から実施中であつたが、十二週間の教育も無事終了、六月二十二日には修了式が厳粛に行なわれ、それぞれの部隊へと配属された。

入隊当初の四月、期待と不安との交錯した面持ちの顔も



新隊員教育修了

に臨み好評を得た。永いようで短かつた十二週間、我が子の様に暖かく見守り続けられた群長、直接指導した、厳しくも優しくかつた教官助教、お互い励まし助け合

報道関係者を招く 防衛講話を実施

岩見沢駐屯地司令(久留島一佐)は六月七日、市内の報道関係者を招き防衛講話及び懇談会等を実施した。

この催しは、各報道関係者に対し、防衛に関する意識の高揚と自衛隊に対する真の理解を深めるため、今回はじめての試みとして行なわれたもので、駐屯地司令による「最近の陸上自衛隊の防衛戦略及び防衛力整備」についての講



話及び災害派遣や部外工事により、岩見沢自衛隊が地域の発展に寄与している役割説明のあと、装備品や隊員居室、厨房等の施設を見学した。

また、駐屯地主要幹部との昼食会では、和気合々のうちに意見が交わされ、親睦を深めるとともに、隊員の実生活の状況を直接見ていただく機会を得、自衛隊の真姿の理解を得る大きな成果があつた。

岩見沢駐屯地司令杯 少年野球大会盛況に終了

第一回岩見沢駐屯地司令杯少年野球大会が、六月十九日、岩見沢市内子供会、八コーチムの参加を得て行なわれた。

本大会は、市内子供会の健全育成を目的として休日の駐屯地施設を有効に活用し、子供たちに大会の体験を通して、より効果的な子供会の育成に寄与できればと企画された。

大会に先立ち、司令久留島一佐は、「伸び伸びと元気で野球をやり、立派な子供に成長して下さい。本大会が意義ある立派な大会となる事を希望します。」と述べ、また、選手を代表して、板谷拓史君(十一)が「本日は自衛隊のグラウンドで私たちのために、このような大会を計画していただき本当にありがとうございます。朝早くから準備のためお手伝いしていただいた自衛隊のおじさん方にお礼申し上げます。私たちは一生懸命頑張ります。」と元気よくお礼を述べた。

試合は、大会長(駐屯地司令)の始球式が行なわれたのち、熱戦が繰り広げられた。どのチームも深刺として健闘し、声援に駆けつけた父兄や、友人も選手ともども、好プレー、珍プレーに「喜一憂」の声を援で大人顔負けの激戦となった。

特に、決勝戦では、志文本町子供会チームが駒沢子供会チームを劇的な逆転サヨナラで6:5で下し駐屯地司令杯優勝の栄冠を獲得した。

現在、岩見沢市内子供会チームは4個チームあり、大会は市主催の大会とライオンズクラブが主催する大会の二つ



駐屯地司令杯少年野球

ここで自衛隊は、学校と違って長い伝統を持ったプロ集団の威力を発揮するのです。

我々自衛官の生活の知恵は、厳しい訓練(長期の野営、激しい運動、洗滌、入浴の制限等)を体験し「小さざっぱりとして不精にわたらぬような髪形」を生み出しました。

髪形に限らず、髪方般に亘って長い実践で、現在に一番適合(外出制度の改善に見られるように)した規範を持っているのです。

「正しい制服等を着用し、服装及び容儀を端正にし自衛隊員としての規律と品位を保つように努めなければならぬ」と服装規則は唱っています。

これら精神を受けて中隊長等を核として部隊の規律が保たれているわけです。

教育は、九月九日に終了し、いよいよプロ集団の中隊に配属される各々長い伝統を持った「生活の知恵」が新人類の若者を包み込んで、中隊長以下の指導と相まって一人前の自衛官を誕生させてくれるのです。

先輩諸官、三十七名の若者をよろしく。

ただで、野球を志している子供たちにとって試合に参加できる機会が少ないため子供達には勿論、連関係者からも大変喜ばれ、岩見沢駐屯地では来年以降も継続して子供達の参加機会を多くしていく予定である。

なお、成績は次のとおり
一 優勝 志文本町子供会
二 準優勝 駒沢地区子供会
三 第三位 利根別第三子供会

校則騒ぎに想う

副群長 二等陸佐 古橋 治 夫

さて、我が陸上自衛隊は、この校則騒ぎと無縁であろうか? 現在三十七名の新隊員を預かっているが、帳は学校で

否家庭でと互いに責任を押しつけあっている環境で育っている若者ですから無縁である筈はありません。

新隊員教育隊では、校則に当る営内服規則「自衛官としての使命を自覚し、有事の際直ちに任務につくことが出来るよう常に物心両面の準備

髪型、服装、持ち物を中心に生徒の行動を細かく規制する三十ページに及ぶ校則を設けている学校もあるということ、腰の重い文部省も「生徒の自主性を尊重した、ゆるやかな校則にするよう」との担当課長の談話を発表するに至った。

はいざい

今年三月、静岡県の中学校で、一部生徒の卒業写真を花の写真に替えるという事件を契機として、校則が問題となっている。

さて、我が陸上自衛隊は、この校則騒ぎと無縁であろうか? 現在三十七名の新隊員を預かっているが、帳は学校で

髪型、服装、持ち物を中心に生徒の行動を細かく規制する三十ページに及ぶ校則を設けている学校もあるということ、腰の重い文部省も「生徒の自主性を尊重した、ゆるやかな校則にするよう」との担当課長の談話を発表するに至った。

近江建設株式会社

特定土木建設許可・一級建築士事務所

本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話23-3026
支社 三笠市唐松町1丁目374 電話 2-3179
営業所 札幌市中央区南2条西5丁目
ロジエ札幌25 806号室 電話011-222-5359
営業所 三笠市豊内本沢町 電話 2-5403

●年金と医療保険のバイオニア
●生涯の保障に終身保険(明明)

日々の暮しに安心を

東邦生命

担当 深沢隆子 (内327)

宝石 創業80年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

(株)太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
☎0126②3353・②3354

おらが中隊

第三五施設中隊
一着陸曹 藤原恒雄



第三五施設中隊を紹介いたします。昨年八月現中隊長（傳法一尉）着任以来「有言実行」「打って一丸」をモットーに訓練に戦技に真に精進する中隊を目指し、始動しました。しかし、昨年度実施された群持統走、スキー競技会では共に第三位と成績はふるいませんでした。

そこで今年、中隊長要望事項の一つである有言実行の実践を目指し、まず訓練では九月に実施される中隊検閲を受閲するわけですが、その目標はズバリ「優良」です。このため年度当初各級指揮官から隊員に至るまで「基礎動作の確行」を合言葉に群野営等を活用して練度の向上を目指しております。

戦技競技会では、ここ数年我が中隊は勝利の女神から見離され優勝の二文字とは、ほど遠い存在になっております。しかし、三三五施設中隊といえはスキーと言われるほど伝統と実力を持った中隊です。そこで今年度、戦技競技会の目標は、群スキー競技会の優勝です。

そのためには、十一月実施される群持統走、銃剣道競技

OBたより

先日、O日四氏の方が勤務している、本山測量事務所（七条東五）を訪ねました。この、本山測量事務所の社長・本山有里さんは、自衛隊に對して、大変に御理解のある方で、第三二二施設器材中隊長を最後に自衛隊を去られた「岡田徹也」さん（54・1）第十二施設群第三科勤務の「田中外次郎」さん（55・2）業務隊管理科勤務、二級建築士の「青木昭三郎」さん（57・4）及び業務隊総務科勤務の「風間八郎」さん（61・7）の、四名の方を雇用していただいでいます。



田中さん 青木さん 風間さん 岡田さん

この方々は、昭和28年、岩見沢駐屯地創設以来、第一〇二施設大隊、第十二施設群及び業務隊等の要職を歴任され、現在の駐屯地基礎づくりに、それぞれの場合で、活躍された方々であります。

退職後は、本山有里社長さま

会で足場を築き中隊の士気を上げ、団結を強化しなければなりません。

訓練、戦技ともに精進を目指すには、並大抵な努力では出来ることではありませんが、つまりは必ずしなしてける。つまり、有言実行の実践こそ大切な事です。

以上、掲げた二つの目標に向って「打って一丸」中隊長核心に全力を投入して行きます。

駐屯地球技大会 盛會裡に終了

岩見沢駐屯地では、六月二十九日駐屯地球技大会（バレーボール、ソフトボール）が開かれた。

開会にあたり、駐屯地司令から「主力部隊である第十二施設群にとっては、訓練の合間をぬっての球技大会であるので、趣旨を理解し、大いに楽しみ、怪我をしないように



奮戦するH&Q

して団結を図ろう。」との訓示のもと開会となった。

球技大会は、バレーボール、ソフトボール共に、各中隊対抗のトーナメント方式により行なわれたが、久方振りの球技大会とあり、各中隊ともに、ハッスルし、珍プレーや好プレーが続出し、観衆を喜ばせた。

なお、今回の球技大会は、主力中隊にとつては訓練の合間をぬっての球技大会であつただけに、日頃、後方支援に任ずる部隊の活躍が目立った。特に、ソフトボールでは、今回初参加の新隊員課程後期教育隊の若い力に、各中隊とも奮が立たず優勝をさらわれる等、終始楽しく、駐屯地司令

の訓示を活かしたか？大会となつた。

成績は次のとおり
優勝 本部管理中隊
準優勝 業務隊
ソフトボールの部
優勝 新隊員後期教育隊
準優勝 本部管理中隊

駐屯地環境整備計画の模型完成

岩見沢駐屯地では、先に駐屯地の在り方について検討して駐屯地環境整備計画を策定したが、計画の全容が一目で判る模型がこの程完成した。

完成した模型は、縮尺1/10000で、タテ110cmヨコ140cmの精巧なもので、業務隊淡水技官が約二ヶ月間かかりで制作し、早速駐屯地隊員食堂に設置され隊員の関心を集めている。

模型には、温水プールや新隊舎、食堂あるいは芝桜におおわれたスキー訓練場等が含まれており、隊員が真にくつろげる憩いの場として、あるいは市民との交流の場、地域の「名所」として通用する美しく整備された「緑の駐屯地」が眼前に展開されており、一日も早い実現を隊員一同大いに期待している。

また、岡田徹也さんについては、ご多忙なお仕事の傍ら、隊友会岩見沢支部長に就任されておられ、会員の総括はもとより、駐屯地諸行事に対する支援をはじめ、駐屯地と一般社会との橋渡し、また、定年退官予定者の就職援護相談、現職隊員のカウンセラー役としても信望を集め、ご活躍いただいております。

先輩の方々には、後輩のための「一言」を総合すると「と



岩見沢駐屯地環境整備計画の模型

岩見沢市東町1条6丁目
新東町団地4区画にて
注文住宅 受付中

公庫建築に精通した本格木造注文住宅

- 一級建築士事務所／北海道知事登録(空)第158号
- 宅地建物取引業／北海道知事免許(2)第241号
- 特定建設業／北海道知事免許特60(空)第41号許可

提携金融機関/北洋相互銀行全店・日本信販・空知信用金庫全店

創業35年 株式会社 **本田工業**
住まいの

岩見沢本社 ☎(0126) 22-2033(代)
岩見沢市南町9条2丁目

新東町団地宅地分譲予約受付

最少区画 243.00㎡ (73.50坪) 404万円より
最大区画 490.17㎡ (148.27坪) 815万円まで

北海道知事空知(1)第343号
北海道宅地建物取引業協会会員
全国宅地建物取引業保証協会会員

実孝商会(株)

岩見沢市7条東5丁目
☎(0126) 24-4388

陶芸窯更新 「火入れ式」

岩見沢駐屯地陶芸部は、かねてから念願であった新しい陶芸窯の購入が決定し、三月三十一日から新旧の窯の入れ替え作業が行なわれていたが、この度、すべての作業を終了して、四月九日初窯の火入れ式が行なわれた。

火入れ式は、地元の窯元、陶芸家の先生をはじめ、駐屯地内の各幕僚及び陶芸部員が参集し、岩見沢神社神主による神事に始まり、三代目陶芸部長北野一年准尉の手により「日の出窯」の伝統と新窯の火を守るべく、初窯の火入れが厳粛に行なわれ安全と繁栄

を祈願した。

当駐屯地の陶芸部は、昭和四十年、業焼窯から発足し、昭和四十七年、北部方面隊の重点クラブに指定されて本焼窯へと進み、以来十六年、初代窯元の近藤高元准尉(現栗沢窯元)から二代目坂田和幸准尉を経て、この度、新窯新設と同時に三代目北野一年准尉へと継承されてきた。

この七月定年退官を迎える二代目の坂田准尉は「日の出窯」と共に十年の歳月を陶芸部長として、後進の育成に努めるかたわら、数多くの優秀作品を造り、初代部長近藤高

氏に続いて二代目の北海道美術作家協会会員として活躍しています。

この間、旧窯は使用回数二百回が耐用年数限度の所を四百五十回にも及ぶ使用で、すっかり老朽化しておりました。が、上級部隊の御高配により新窯への更新が、ようやく実現したものです。

「日の出窯」の作品に使用する粘土は駐屯地にある重粘土を主体としたものであり、釉薬も駐屯地内の土中に産する高師小僧を主体として、黒鉛及び伊瀬保袖等駐屯地の特色を活かしたものを使得っており、窯は灯油窯で酸化炎、還元炎に焚き分けられむずかしいとされる油滴天目、辰砂等の作品もすでに焼成して

おります。

作品は、隊員の手作りで駐屯地及び演習場とされる粘土と釉薬とが三位一体となり、独特の風雅を醸し出している。と各方面から絶賛を浴びており、北部方面美術展では部員が出品した作品が例年、数多く入賞しております。

この度の、新窯への更新により三代目陶芸部長の北野一年准尉以下八十名強の部員達は土に親しむことを職務とする施設科隊員としての自覚のもと、余暇を利用しては陶芸に励み、人間修養にも努めた。いとの意欲に燃えており、伝統を継承して、三代目の北海道美術作家協会会員を目指して没頭するかたわら、陶芸を通して地域の婦人層及び一般



日の出窯火入れ式

岩見沢駐屯地地業務隊 ソフトボール大会の記

二等陸尉 蔵本久男

隊付准尉の祈り大に通じたか、「照々の坊主」も我れに味方し、前日の強風小雨の天候とうって変り、爽やかな五月晴に思われた五月二十四日業務隊各科対抗ソフトボール大会は、駐屯地野球場において女子隊員、職員等を混じえ和やかな雰囲気の内に行なわれた。

試合は、隊長の訓示及び始球式に始まり、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、珍プレーの続出、ただし、好プレーも少しはありました。

試合結果は、優勝・管理科二位、厚生科、三位、補給科



ピッチャーで活躍する隊長

隊科チームは、隊長の三試合連続登板(リリーフ無し)の奮闘をよそに珍プレー続出、ボールの变りに自分のバットで、自分の頭を打つ選手まで出る始末に健闘も並しく惜敗の連続で四位の最下位に終ってしまいました。

駐屯地の皆さん、駐屯地地球技大会には速選手でなく、名選手を揃えて頑張りますのでよろしくお願ひします。

水明公園は、明治四十一年に建設された東浄水場の跡地で、昭和五十六年から公園化が進められ、昭和五十八年に岩見沢開基百年を記念して「水明公園」として開園されました。



その施設、建物等は、両館に次いで二番目に古く、北海道の水道の歴史を後世に伝えるものとして重要な意義ある公園です。

水明公園

公園内には、明治を思わせる建物や珍らしい大きな水時計、噴水、階段状に流れる池等があり、春から秋にかけて孫と遊ぶ、おじいちゃん・おばあちゃんの変や、藤棚の下で本を読んでいる学生、若い人達のかたらいの場、また、夕涼みの場として親しまれています。

なお、この公園は、浄水場としては現在使用されてはいませんが、道路等の散水の水取場として使用されており、公害防止の一役も任せています。



市民との交流を深め自衛隊に對する理解を広めています。

おにぎりサービス
コーヒースービス

岩見沢市5条西1丁目 ☎25-3725

車両で片道、半日かかる矢日別演習場に行きました。今回の演習は、近々施設科に入ってくるコルゲートにかわるライナープレートと言う物を主に訓練しました。

ライナープレートの特徴は、コルゲートに比べてまず最初に軽いことです。軽いということは、迅速確実かつ安全に構築できて、ポルトは、夜間作業においても、山ポルト、谷ポルトを間違える事なく確実に取りつける事ができるクリップと言う物に変わりました。クリップは、金槌で取りつ

ける事ができ、本当に簡単に施設科部隊にとって良い事だと思ひます。

これからもっとくわしく訓練しなければと思ひました。そこで、自分自身の今年初めての演習参加の印象は知らない事や、初めての事が多く、精神的にも苦勞しましたが、判らない事は一つ一つ覚悟極的な訓練に取り組み、基本的な内容については自学研鑽し、今後基礎動作を正確に実施することを忘れず、第二次、第三次野営に参加したいと思います。

保障から年金まであなたのコンサルタントとしてお役に立ちます

朝日生命

岩見沢営業所 ☎22-0727

担当 柳生 瑞子 柳崎 順子

自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢市商工会議所内
支部長：三谷栄一
TEL：0126-22-3445

国をまもる防衛庁職員のための

◎家族保障保険
◎ニューライフサイクル
◎終身保障やすらぎ

協栄生命

担当：田村純子、高橋ひさ子

隊員紹介
第三十七隊中二等陸曹
荒井耕治



石黒士長

我が中隊の若きホープ石黒潤司陸士長を紹介いたします。
石黒士長は、地元岩見沢市出身で、昭和六十一年四月、自衛隊に入隊した新進気鋭のワシバ坊主の陸士長です。

すでに駐屯地の皆様には脳裏に強烈な印象で、61・62年度の冬季競技会スタート要員として走り、他中隊を圧倒するぶつちぎりの早さでバトンタッチをした、1メートル五十五センチメートルぐらゐの銃の大きく見える可愛い隊員の姿が目の前に浮かんで来たことでしょう。

新隊員課任 前期教育終了にて
二等陸士 五十嵐英樹



五十嵐英樹

まだ、あちこちに雪が残る昭和六十三年四月四日に、私は、この岩見沢駐屯地に自衛官としての第一歩を踏み出した。

早速、その日から、自衛隊の規律、営内での生活に関する規律など少しづつ教えていただきました。
まったく何も知らない私達は、厳しい規律にとまどいまして、中でもベットのとり方

それが石黒士長です。あの小さな身体に秘めたファイトが彼の全財産で、スキー以外にも六十二年度団統剣道競技会全勝、六十三年度団統銃走競技会にも群の選手として輝やかしい戦績を残しておられます。

また、六十三年度岩見沢市の成人式には、市の成人者を代表して答辞をした、自衛官では初めての榮譽に浴した隊員です。
今、石黒士長は、第一に一選抜で陸曹候補生に合格すること、第二にスキーのテクニカルブライズと準指導員の資格及び自衛隊の部隊スキー指導員の資格の取得並びに全日本基礎スキー選手権に出場することを目標として努力している毎日です。

六月からは、新隊員教育隊の班付として、自ら活模範を示し優秀な後継者の育成にと、

は今でもうまく出来ないほどに角のとり方が難しかったので、
そして初めて本物の銃を持った時の、あの感動と感触は今でも忘れません。
そうこうしているうちに一週間が過ぎて、入隊式となりました。

入隊式の会食の時、私は謝辞をやらせていただいたのですが、すこく緊張して何を言っていたのかわかりませんでした。
入隊式が過ぎて、自衛官としての本当の生活が始まりました。

訓練は、基本教練から戦闘訓練に至るまで幅広く行なわれましたが、最初のうちは基本教練でつまづきましたが、何回も何回も反復訓練しているうちに自然に自分のものに

家庭だより
北海道に来て
須田 田裕子



須田二曹夫婦

月日の経つのは早いもので九州から北海道に転居して来て、六年が過ぎようとしています。

転居前に北海道の状況がわからず、半袖の服や扇風機それに冷蔵庫等、夏物は全く必要がないのではないかと思っていました。
主人があまり勤めるので持ってきたのですが、いざ夏になってみると、予想に反して気温が、ぐんぐん上がり三十三度を超える日も一年の内には何拾日もあり、全部必要な物ばかりでした。
そして、冬になれば道路は雪で覆われてしまい、買物な

読者のコーナー

燃えている一寸気弱な、今後の活躍が大いに期待される若

なりました。
次に、いよいよ、射撃予習が始まりました。

最初のころは、射撃予習の伏せ撃ちの姿勢は苦しくてとても簡単に撃てるものではないと思っていました。

しかし、初めて実弾を撃った瞬間の感触は気持ちのいいものでした。
でも、その銃のおかげで苦しい目にもありました。

それは、あの有名なハイポイントです。特に25km行進の時のハイポイントは、腕がちぎれそうになるくらいに手の感触がなくなり、足は歩く位いの速さで走り、頭はボーッととして、あれほど苦しかった体験は初めてでした。
でも、最後まで頑張ることを心に誓い頑張りました。これからは、後期教育を受

ども不自由するのではないかと心配だったので、路面はスケートリンクみたい綺麗に除雪されるのには驚きました。

今、ふり返ると、不安な事はかりでしたが、実際にスキーが楽しめ、春には綺麗な花が咲き誇り、じめじめした梅雨は無く、夏は涼しくて過ごしやすく、秋になると温度差の激しい北海道ならではの紅葉を見ることも出来て、私達家族は、北海道の自然を存分に味わうことが出来ていました。

渡道当時、五歳だった二人の子供達も小学校五年生と二年生になりました。

初め、自衛隊は恐しい所かも知れないという気持ちもあり不安でしたが、いざ入隊して見ると、教官、助教、そして営内班の仲間達と、いい人達ばかりで、最初の不安も一日自衛隊で生活しただけですっかりなくなりました。

特に、同じ営内班の班員とは、昔からの知り合いのように話をしたりしました。
教育が始まってからは、さらに一層友情も深まりました。

それから、自衛隊に入って自分の為になった事は、自分が責任をもって、自分の行動をとれるようになった事です。
自衛隊という所は、自分の事は自分でしなければならなく、誰かがやってくれるなどという考えではやって行けません。

自分でも何がしたいのか、はつきりとしないうまま過ぎていたうちに、そうだ「自分自身を鍛えるために自衛隊に入ろう」と決心しました。

子供達二人は「スキーが大好き」と言うだけあって暗くなる何処に居るのかわからなくなる程、真黒に電燈つけます。

また、北海道も板につき、誰が見ても道産子に見える程です。

私自身も北海道の魅力にとりつかれている一人ですけれども、主人が親の面倒を見なければならぬ立場にあり、近い将来、九州に帰らなければなりません。その時まで子供達にも雄大な自然と北海道の良さを身体で十二分に味あわせてやり、「一生の思い出」となるよう主人と努力致しております。

その為、自分の仕事は、最後まで責任をもって完遂しなければならなく、自然と責任感も身につく、節度ある行動がとれる様に成りました。

以前は、「だから」と、なんとなくやっていた事も、今では、きちんと責任をもって出来るようになりました。
自分がこうゆうふうに変わっていき、やっぱり自衛隊に入ってよかったと、つくづく思っています。

これから先、自分は自衛隊を一生の仕事としていきたいと思っており、一生懸命勉強して、自分の力を試してみたいと思っています。

そして、陸曹になり、さらに勉強して幹部の試験も受けたいと思っています。
実力次第で偉くなれる自衛隊は、自分を鍛え、また、自分を試すのに最高の職場だと思います。
これからも、自分自身を鍛え、肉体的にも精神的にも成長していきたいと思っています。(北方通信群へ)

自衛隊に入隊して
二等陸士 扇一弘



扇一弘

私が、自衛隊に入隊しようとしたのは、高校卒業もさし迫った二月でした。
自分でも何がしたいのか、はつきりとしないうまま過ぎていたうちに、そうだ「自分自身を鍛えるために自衛隊に入ろう」と決心しました。

北海道電力株指定・ナショナル電工チェーン店
東芝電材チェーン店・電気工事設計施工
火災報知設備・照明器具・家庭電化製品

有限会社 千葉電気商会

〒068 岩見沢市東山町2番地7-1
電話 (0126) 24-4567番

時代を一步リードした
中庭のあるモデル住宅

柏崎建築設計事務所
建築請負 柏崎建設株式会社
代表取締役 **柏崎昭明**

会社 岩見沢市11条西1丁目 目黒区
電話(代) 2129番
岩見沢市東山町 電話 241725番
木工場

中国風パブスナック

里

岩見沢市3条西1丁目 電話 23-2533
25-0631

GSVC 部隊識別帽紹介



岩業識別帽

岩見沢駐屯地業務隊（隊長 米本二佐）は、昭和六十二年六月二十二日、部隊識別帽を制定した。
制定された帽子は、全般を紺色とし、帽子の正面中央に

業務隊のシンボルマーク（昭和四十八年、当時の隊長米本三佐により制定）と月桂樹の葉を金色で刺繍し、その上側に「General Service」の下側に「IHWAMIZAWA」と刺繍した。
また、班長職以上は、ひさし付け根に飾りアゴ紐（金モール）を入れ、一目で判別できるようにした。

昇任おめでとう

この帽子をデザインしたのは、補給科の中里二曹で多数の応募作品の中から選ばれて採用されたものである。

- ★第十二施設群★
- 一等陸尉へ 袖木 義人
 - 二等陸尉へ 吉田 吉彦
 - 三等陸尉へ 伊藤正四郎
 - 梅津 和幸 大谷 敦
 - 松崎 延男 佐藤 勝
 - 准陸尉へ 兵井 弘
 - 准陸尉へ 芳野 栄
 - 陸曹長へ 宮本 昭雄
 - 川崎 忠夫 芳賀 清志
 - 佐藤 利光 二ノ宮 宏
 - 滝木 隆司 丸山 勝司
 - 山口 清 佐藤 三郎
 - 一等陸曹へ 山口 治次
 - 山本 斌洋 松井 義秋
 - 坪倉 征男 松園 俊郎
 - 河原 裕幸 佐々木 哲弥
 - 二等陸曹へ 三澤 昭光
 - 森 克則 小見 一仁
 - 小林 伸広 柴田 周二
 - 三等陸曹へ 池田 広明
 - 千葉 春彦 倉園 武敏
 - 角沖 淳一 豊田 富之
 - 陸曹候補生へ 二曹 葛西 祐雄(寿)6・20

- ★業務隊★
- 宮崎 大生 千葉 孝幸
 - 田部井 哲男 堀岡 竜一
 - 二等陸尉へ 福岡 弘洋
 - 三等陸尉へ 佐藤 春男
 - 准陸尉へ 三島 辰男
 - 一等陸曹へ 一瀬 紀明
 - 行一 三等級へ 福本 良己
- ★諸隊★
- 二等陸尉へ 荒井 久生
 - 二等陸曹へ 斎藤 政則
 - 南川 寿典
 - 三等陸曹へ 安達 義孝
 - 陸曹候補生へ 熊谷 征敏
- ★三級賞詞★
- 三曹 吉田 光広(車)4・22
 - 四級賞詞
 - 二曹 門脇 孝(改)4・12
 - ★三三七会計隊★
 - 二曹 葛西 祐雄(寿)6・20



定年退官 永い間本当に ごくろうさまでした

- 第三三五施設中隊
- 陸曹長 長岡 健司 4・9
 - ▲住所▼ 美瑛市西四北五丁目
 - ▲就職先▼ 富士工業株式会社(美瑛)
 - 本部管理中隊
 - 三等陸尉 松田 光雄 5・9
 - ▲住所▼

- ▲就職先▼ 松井造船(風連)
- 岩見沢駐屯地業務隊
- 陸曹長 中村 行雄 4・18
- ▲住所▼ 岩見沢市日の出九丁目
- ▲就職先▼ 北海道オリジン
- (岩見沢)

- 岩見沢市日の出南四丁目
- ▲就職先▼ 大日フラポード
- 北海道工場(美瑛)
- 第三四二施設中隊
- 一等陸曹 加茂 清 5・27
- ▲住所▼ 上川郡下川町字上名寄12線
- ▲就職先▼

趣味のコーナー 野鳥観察 クラブ

岩見沢駐屯地は、自然に恵まれた「緑の駐屯地」として、また、陶芸「日の出焼」の駐屯地として名声を浴びております。



駐屯地上空の オジロワシとトビ

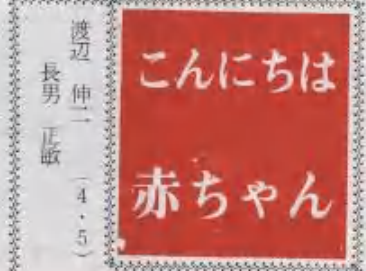
また、冬鳥が北へ飛立つと、夏鳥が我れ先にと営巣のため多数の野鳥がやってきます。昭和六十一年四月八日には、北日本では珍らしい「ミヤマホオジロ」を観察。昭和六十二年十一月二十五日には台風の影響が内陸では、めつたに

溪流釣り名人 畠山二曹

北海道では、六月一日から十月までの間、ヤマメ・イワナ等が解禁となり、溪流釣りのシーズンとなります。私は、千代志別川上流や、幌川上流等をホームグラウンドとしております。ヤマメ等は、四月頃、雪解けとともに動きだし、エサをあげるようになりますが、イワナは時期尚早で、山の白い雪が解け、緑色に変わってからシーズンの開幕となります。ヤマメは、比較的容易に釣れますが、イワナは、水温に敏感で、捕食活動や就餌動作が左右され、活動適温は十三度前後といわれており、五度以下及び十八度以上の水温では就餌しません。また、エサに不審を感じる



と岩の下に潜んで半日くらいは捕食活動をしていない習性があります。ポイントに近づくと静かにし、影を落とさないようにそっと近づくと必要です。竿及び仕掛については、図のような物を準備する他、竿の長さは、3.9mから4.2m位で、道糸は一号を使用し、ハリは、ヤマメ・ハリハリ九号・夏期は、十号を使用するといふと思われまふ。ポイントには、図の様な場所を選び、移動しながら釣るようになります。準備する物は、仕掛等の予備、水筒、雨具、懐中電灯、地図、軍手、タオルや食糧品等は最少限必要でしょう。



- 渡辺 伸二 (4・5)
- 長男 正敏
- 三品 勝浩 (4・12)
 - 長女 麻里
 - 福本 勝浩 (4・14)
 - 長男 良平
 - 南城 勲 (5・8)
 - 長男 岳
 - 今野 勝美 (5・18)
 - 長男 竜也
 - 前 秀和 (6・19)
 - 長男 佑樹

見られない「コウミスズメ」を観察。他に都市部では見られない「オジロワシ」等も観察されており、「野鳥の森」岩見沢駐屯地としても名声を挙げそうです。現在までに観察された野鳥は、オシドリ、クマガエラ、アリスイ、オオルリ、ヒレンジヤク等六十種類にも及んでいます。これらの野鳥は、日本野鳥の会会員でもある駐屯地司令(久留島昭彦一佐)及び野鳥観察クラブの隊員により観察されたものであります。皆様も是非、バードウォッチングに岩見沢駐屯地へ、いらっしやいませんか、お待ち申し上げます。

あなたの祝典のステージ

岩見沢 平安閣

岩見沢市5条東2丁目
☎(0126) 23-4581

カンパヨウウェディングプラン

華燭

華式から披露宴までのすべてをセレクトしてこの価格で

ご両家ご負担 **200,000円**

★会費各1人様5,500円×人数+200,000円(両家ご負担)

豊かな味と憩いの広場

ホテル サンフラガ

岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788

安心しっかり
愛車もしっかり
車検費用積立プラン

富士火災

担当 松浦直樹

岩見沢支社 Tel 23-5142